

南宮の里

学校だより NO, 9

平成24年 9月14日 発行
中野市立南宮中学校
文責：関 毅（教頭）

<http://nangu.nakano-ngn.ed.jp/>

校長講話 9月12日(水)

稲むらの火

資源回収ご苦労様でした。地域の方には、わざわざ新聞等をとっておいてくれる家もあり、皆さんの活動を支えてくれる人が大勢いることを知り、ありがたく思いました。

また、9月4日(火)には職場見学、職場体験学習、進路講話があり、働くということ、働き続けるということについて、今まで以上に感じたり、考えたりする機会になったと思います。

蒼龍祭の準備が進み、「歌声を高め合う週間」が計画され、異なる学年の学級が歌を聴き合う取組が行われる中で、それぞれのよいところを吸収してより思いのこもった歌に創り上げてほしいです。ローマは一日にして成らず。今のプロセスを大切にしたいです。

さて、9月1日は全国防災の日で、全国の多くの場所で避難訓練が行われました。東北の大震災など、本当に大きな地震は何十年に一度と言われ、忘れた頃にやってきます。地震や津波について忘れないようにと思い、津波から人々を救った「稲むらの火」という話をします。

今の和歌山県有田郡広川町に実際にあった話です。海辺の村に五兵衛という庄屋がいました。地震がおき高台にある家から村を見ていると、波が沖へ沖へと動いて海岸に広い砂原や黒い岩底が現れた。「大津波だ。」と五兵衛は思った。すると五兵衛は刈り取り前の稲に火をつけた。稲むらについた火は天をこがした。「庄屋さんの家が火事だ」と、海辺の村から人々が高台に向かって走り出した。駆けつけた村人に五兵衛は「火は消さなくていい。村中の人を連れてくるんだ。」と大声で言った。村中の人が集まったとき、遠くの海に細い一筋の線が見えた。「津波だ」。人々は自分の村の上を荒れ狂って通る白い恐ろしい海を見た。我に返った村人は、この火によって救われたことに気づき、五兵衛の前にひざまづいた。

日本は地震国です。五兵衛は地震の体験から津波が来そうな気配を感じ、村人の命を優先する行動をとりました。五兵衛はその後、自分の資産をなげうって村の海岸に堤防を作ったのでした。ここに出てきた五兵衛は、浜口儀兵衛（梧陵）といいます。江戸に出て勉強もたくさんやりました。なんと当時の信州松代藩の佐久間象山に学びました。勝海舟や福沢諭吉などとも親交があった人です。また、「稲むらの火」はオランダ人で作家のラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が書いたもので、昭和の初めから戦後まで小学校の教科書にのり、海外から日本は地震と津波の学習が行われているとまで言われた有名な話です。

万一大きな地震に遭遇したとしても、しばらくすれば地震や津波のことは忘れてしまいがちです。私たちは、その教訓をいつも次の世代に伝えていかなければならないと思います。地震がある国であることを忘れず、訓練をしたり、避難しやすい環境を整えたりしていくことが大切です。

蒼龍祭をやるって、こんなに苦労するんだ

資源回収の時に、新聞紙や雑誌を片付けている生徒が友達と話していました。「蒼龍祭をやるって、こんなに苦労するんだ。去年の人たちもこんなに大変だったの?」。資源回収を蒼龍祭と結び付けて、何のためにこの活動があるのかをきちんと意識していました。

資源回収の活動では、蒼龍祭準備とは別に、地域の一員としての自覚をもつことと、働くことについて考える機会とすることを期待していました。回収時に地域の方と挨拶を交わしたり、お礼の言葉を伝えたりする生徒の様子が見られたことはよかったですと思います(中には地域の方に物品を手渡されてもお礼の言葉がなかったとの話も聞いていますが)。地域の方々も持っている中学生への思いに少しでも触れてもらえると、将来の自分のあり方に目を向けることにつながります。



最後になりますが、保護者や地域の皆さまにご協力いただきながら、無事行うことができましたことに感謝申し上げます。

尚、収益金は蒼龍祭の費用を中心に使用させていただきます。

※最近の出来事から※



【部活動の記録】

- 県吹奏楽コンクール地区大会 (7/28) 南宮中学校 金賞 (県大会出場)
- 県吹奏楽コンクール (8/5) 南宮中学校 銀賞
- 県学校合唱大会地区大会 (8/5) 南宮中学校 銀賞
- 市民水泳大会 (8/26)
 - 中学男子 50M自由形 小林輝 (2-4) 1位、岩本健太 (2-5) 2位
 - 中学女子 50M自由形 阿部未玖 (3-1) 1位
 - 中学女子 50M平泳ぎ 中村真子 (3-3) 1位
 - 中学男子 50M背泳ぎ 岩本健太 (2-5) 1位
 - 中学女子 200M個人メドレー 中村真子 (3-3) 1位、阿部未玖 (3-1) 2位
- 須坂市民ソフトテニス大会 (9/2)
 - 中学生男子 小野沢孝長 (1-1)、星野裕樹 (1-4) 3位
 - 中学生女子 江口野亜 (1-5)、山田瑞起 (1-2) 準優勝